

身近な情報をお寄せください

企画調整課広報広聴係 (☎373-2111) 333

韓国から友達が来た

中大郷でホームステイ

遠藤雪恵さん(中大郷)のお宅に、韓国から金伸浩(キム・シンホ)君(十三歳)が、七月二十四日から八月十二日までホームステイしました。これは、遠藤さんが国際交流活動を行っているヒップポフファミリークラブに所属していたことから実現したものです。長男の肇くん(大鷲小五年)や近所の子供たちと、夏休みの楽しい出会いとなりました。

金くんは八月九日に大鷲小学校を訪問。全校朝会で自己紹介の後、五、六年生と一緒にレクリエーション。ちよつとはにかみながら、日本の小学生との交流を深めました。



親子の触れ合いを大切に

母子保健指導者研究会

県や全国母子健康センター連合会などが主催した「東日本ブロック母子保健指導者講習会」が七月十八日と十九日にカルチャーセンターで行われました。講習会には本県をはじめ青森、愛知など十二県から百十一人の助産婦や保健婦が出席。女性の社会進出が進む中、働く女性のニーズに対応した母子保健の在り方を学びました。

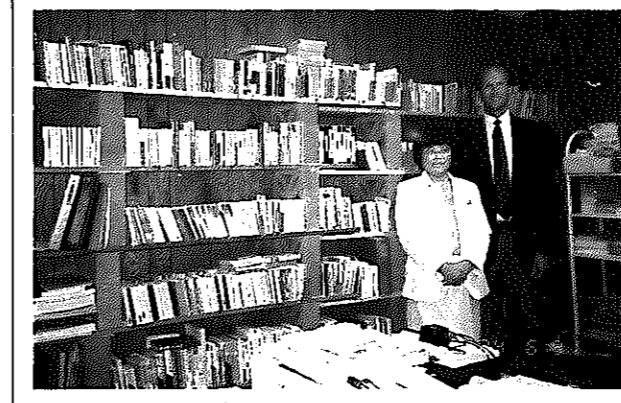
安全で楽なお産をするための妊産婦体操や、親子の触れ合いを大切にする赤ちゃん体操の理論と実習に参加者は真剣なまなざし。指導上の注意など活発な意見交換がされました。



アメリカへ日本の本を

白根ロータリークラブ

白根ロータリークラブが、ミネソタ(アメリカ)に住むヨーコ・ブレクンリッジさんたち日本人が作った「日本語の本の図書室」へ、百五十冊の本を贈り大変喜ばれています。アメリカでは日本文字の本は貴重品で、自分の本を読み終ると個人的に貸し借りして読んでいます。そこで自分たちの本を出し合い、ミネソタに住む日本人から自由に読んでもらうと図書室を作りました。ロータリークラブでは、ヨーコさんの母校味方中学校がこの活動に協力していることを聞き、国際奉仕活動の一つとして贈ったものです。

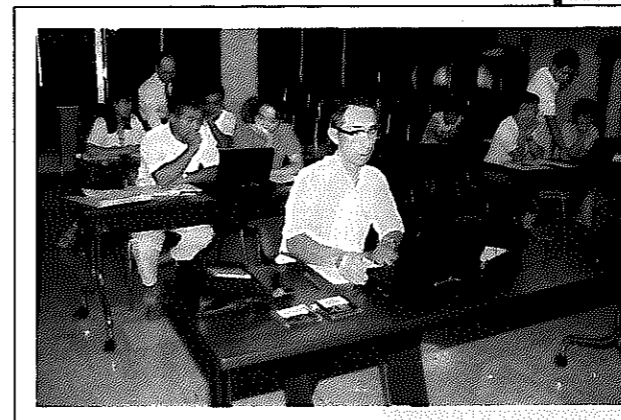


表計算を30時間でマスター

パソコン教室

庄瀬、小林両公民館が合同で開いたパソコン教室。七月十一日から八月九日まで十回にわたり、青年教育センターで行われました。

参加者は、十五歳から六十三歳までの老若男女十人。ノート型パソコンを使い、表計算ソフト「ロイタス11213」を三十時間でマスターしようという真剣に取り組めます。講師の早川正さん(元白根高校教諭)は「皆さん一生懸命ですので、教える方も熱が入ります」と話します。八月八日は、並べ替えと検索についての講義。参加者は休憩時間も惜しんでパソコンに向かっていました。



高まる庄瀬のサッカー熱

庄瀬小でOB大会

庄瀬小学校サッカー部OB会大会が、八月十八日同小学校グラウンドで開催されました。三十度を超す暑さの中で、中、高、高校生、父兄など約百五十人が参加。OBの指導や小学生対父兄の試合などが行われました。同小学校は県で優勝した実績もあり、サッカーが盛んなところですが、中学校には今までクラブがありませんでした。四月によくクラブができ、これを契機にサッカーを通して子供たちと父兄の触れ合いの場を持つとこの大会が行われました。地元では青少年の健全育成にもつながると期待を寄せています。

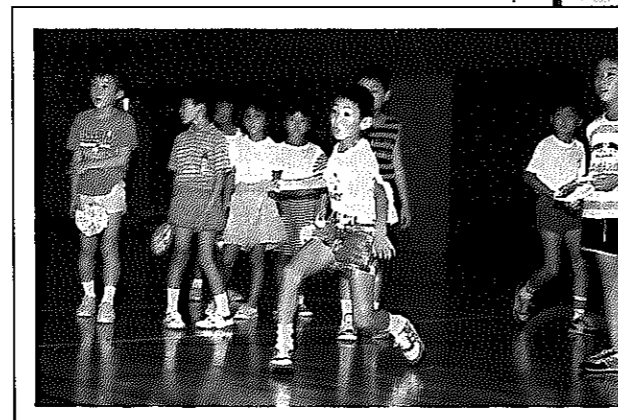


初めてのスポーツを体験

ジュニアサマースポーツ教室

夏休みを有意義に過ごしてもらおうと、カルチャーセンターでは小学三、四年生を対象に、八月五日から八日までジュニアサマースポーツ教室を開催しました。

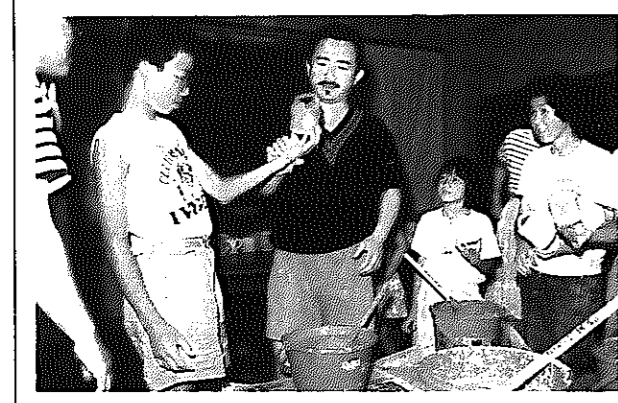
教室には、二十四人の男女が参加。天候に恵まれず、すべて屋内での教室となりましたが、バウンドテニス、フリスビーなど初めてのスポーツに取り組みました。フリスビーは、自分の手で新聞紙から作ったもの。みんなでわいわい言いながら楽しそうに遊んでいました。最後は、みんなでパーベキュー。夏休みのいい思い出ができました。



作品は世界で一つ

中央公民館親子陶芸教室

中央公民館の親子陶芸教室は、募集と同時に申し込みが殺到。追加の教室を開設するほどの盛況でした。三回コースで開かれたこの教室、瓶で型を取り、カップや花瓶などを作りました。「陶芸に関しては親子もレベルは同じか、子供が上」と講師の石田先生。「粘土で物を作るなんて何年ぶりかしら」と緊張気味のお母さんも。八月十七日の閉講式では、窯から出したばかりでまだ温かい作品を受け取り、世界でただ一つの作品を前に感無量の様子。「使うのがもったいないね」と親子の作品を大事そうに持ち帰っていました。



リーダーの心構えを学ぶ

小学生リーダー研修会

第五回市小学生リーダー研修会が、青年教育センターを会場に七月二十五日から一泊二日で行われました。この研修会は、市学校教育研究協議会などが主催。市内十校の小学五、六年生の代表六十八人が参加し、団体生活を通じ交流を深め合い、リーダーの心構えを学ぶというものです。小学生たちは六班に別れ、それぞれ役割を分担し活動。二十六日のレクリエーションは、各班で検討した企画を出し合い、バレーボールや○×クイズなどを楽しみました。

また、八月五、六日には、中学生リーダー研修が行われました。

